

金峰山少年自然の家の再建に伴う 新自然の家整備基本計画について

1 新自然の家整備基本計画 別冊のとおり

金峰山少年自然の家の再建に伴う新自然の家整備基本計画（素案）に関するパブリックコメント等の意見を踏まえて、基本計画素案を一部修正しました。

<参考：パブリックコメント結果>

- (1) 意見募集期間 令和3年6月7日～令和3年7月6日
- (2) 意見の提出状況 21人から75件の意見
- (3) 提出された意見と、それに対する本市の考え方
 - 【対応1（補足修正）】 21件 【対応2（既記載）】 10件
 - 【対応3（説明・理解）】 9件 【対応4（事業参考）】 35件

2 主な修正点

I. はじめに

1 背景と目的（P5）に追記

- ・現在、小中学校の集団宿泊教室は、県内の青少年教育施設で実施されています。

II. 金峰山少年自然の家を取り巻く環境 修正なし

III. 施設整備にあたっての考え方

1 施設整備にあたっての課題・留意事項（P23）に追記

- ・青少年団体や市民の利用促進に向けた効果的な広報活動を検討します。
- ・宿泊・日帰り利用だけでなく、休憩等の立ち寄り利用もできるよう検討します。
- ・社会教育専門家や野外活動指導者の配置等により、施設機能の効果的な運営を検討します。
- ・地域等との連携による体験プログラムの提供等を検討します。等

2 SDGs への取組（P 25）に追記

SDGs 取組事例

- ・目標：4 質の高い教育をみんなに
体験学習活動等を通して、豊かな感性を育むとともに、主体的に考え行動する力を育むなど、ESD（持続可能な社会の担い手を育む教育）を推進します。等

IV. 導入機能・施設

1 導入機能・施設の考え方（P 28）に追記

- ・災害時における避難対応等ができる機能があること。等

2 導入機能の検討（P 29）に追記

- ・バリアフリー対応など、安全で安心して利用できる機能
- ・青少年活動や野外活動の指導に必要な知識・技術を習得する機能
- ・地域住民等とのふれあいや地域の産業を体験し、交流を促進する機能

V. 施設整備計画

3 施設整備方針（P 32）に追記

- ・（6）体育館 機能的な活動空間とするために、ICT 設備の導入を検討します。
- ・各施設は建て替えを基本としますが、改修等により維持可能な施設・設備について検討します。

6 設備計画（P 36）に追記

- ・施設内の換気システム等の設備の設置を検討します。等

VI. 事業手法の検討 修正なし

3 今後のスケジュールについて（令和3年度）

- 令和3年9月～ 金峰山少年自然の家整備運営審議会開催（3回開催予定）
〃 熊本市立野外教育施設運営協議会開催（2回開催予定）
- 令和3年9月 市議会
【新自然の家整備基本計画策定報告、パブリックコメント
結果報告、今後のスケジュール報告】
〃 教育委員会会議
【特定事業の選定等審議】
- 令和3年10月 市政策会議
【特定事業の選定等審議】
- 令和3年10月 教育委員会会議
【新自然の家再建事業進捗状況報告】
- 令和3年11月 教育委員会会議
【条例改正案（設置目的、施設名称、使用者の範囲、使用料、
指定管理者による管理等）、債務負担行為予算案審議】
【新自然の家整備運営実施方針、要求水準書審議】
- 令和3年12月 市議会
【条例改正案（設置目的、施設名称、使用者の範囲、使用料、
指定管理者による管理等）、債務負担行為予算案上程】
〃 新自然の家整備運営実施方針、要求水準書策定
- 令和4年1月～ 新自然の家整備運営事業者募集
- 令和4年2月 教育委員会会議
【予算案審議、新自然の家再建事業進捗状況報告】
- 令和4年3月 市議会
【予算案上程、新自然の家再建事業進捗状況報告】